

工事紹介 第3弾 最知地区道路改良舗装工事

今回紹介する工事は「最知地区道路改良舗装工事」です。

気仙沼市最知南最知 地内の道路や歩道が大雨で水につからないように、大きな側溝の設置や歩道に土を盛り、高くするといった冠水対策の工事を行っています。

令和元年の台風19号をはじめとした豪雨や台風では、歩道や車道が水につかってしまい、通行する皆様にご迷惑をおかけしました。

施工を行う際は、歩道に側溝を設置するために車道に重機を置いて作業するので、片側交互通行を実施しています。近くにお住まいの方やご通行される方にはご迷惑おかけしますがご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



工事を担当する「監理技術者」から
一言いただきました！

この工事では国道45号の気仙沼市最知南最知地内で冠水対策として側溝や横断函渠を整備し、歩道・車道の嵩上げを行います。

片側交互規制での工事なので、一般通行車両や歩行者の安全通行を第一に考え、緊張感を持って行いたいと思います。今回の工事で大雨が降ると冠水し易かった区間が改善されるよう、また通行される方々がきれいになったと思うように工事を行いたいと思います。

工事内容①



元々設置されていた側溝は新しい側溝に入れ替えるため撤去しました。



水の流れを良くするために大きな側溝を設置しました！

工事内容②



※横断函渠（ボックス）を設置するために掘削を行っています！

解説



※横断函渠（ボックスとは）…盛土（最知では道路）の下部を横断する箱形水路のこと。雨水や下水を流すための水路です。

このようにして道路の下に設置しています！

